

## 平成22年6月期 第2四半期決算短信 (非連結)

平成22年2月12日

会社名 株式会社 武井工業所

上場取引所等 フェニックス銘柄

コード番号 5286

本社所在都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 武井 厚

問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長

氏名 大内 哲朗

TEL (0299) 24-5216

半期報告書提出予定日 平成22年3月29日

## 1. 平成22年6月期第2四半期の業績 (平成21年7月1日～平成21年12月31日)

(百万円未満切捨て)

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第2四半期	2,269	(0.2)	108	(-)	75	(-)
21年6月期第2四半期	2,265	(0.6)	△28	(-)	△75	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後1株 当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
22年6月期第2四半期	74	(-)	20	96	-	-	7.56	1.61	3.3			
21年6月期第2四半期	△69	(-)	△19	60	-	-	△7.94	△1.56	△3.3			

(注) ① 持分法投資損益 22年6月期第2四半期 - 百万円 21年6月期第2四半期 - 百万円

② 期中平均株式数 22年6月期第2四半期 3,536,656 株 21年6月期第2四半期 3,539,562 株

③ 会計処理の方法の変更 無

④ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年6月期第2四半期	4,669	1,013	21.70	286	08			
21年6月期第2四半期	4,834	839	17.36	236	95			

(注) 期末発行済株式数 22年6月期第2四半期 3,542,000 株 21年6月期第2四半期 3,542,000 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
22年6月期第2四半期	136	△10	△48	146				
21年6月期第2四半期	45	△35	△105	148				

## 2. 平成22年6月期の業績予想 (平成21年7月1日～平成22年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金 (円)							
				第1四半期		中間期末	第3四半期				
				円	銭	円	銭	円	銭		
通期	4,800	130	120	-	-	-	-	5	00	5	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 33円88銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 3.その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第2四半期 | 3,542,000 株 | 21年6月期      | 3,542,000 株 |
| ② 期末自己株式数           | 22年6月期第2四半期 | 5,344 株     | 21年6月期      | 5,344 株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間)  | 22年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 | 21年6月期第2四半期 | 3,539,562 株 |

#### ※業績予想に適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出の一部に持ち直しの兆しがみられたものの、雇用情勢や所得環境の悪化に伴う個人消費の冷え込みなどにより、景気は依然として低調に推移いたしました。

また、当社の属する建設業界においても、公共建設投資は前政権が実施した経済対策や地方自治体による前倒し発注等の効果はありましたが、政権交代により補正予算の一部執行停止が決定するなど、依然として縮減傾向にあります。さらに、民間建設投資は設備投資の抑制や住宅市場の低迷が継続し、受注環境は極めて厳しいものとなりました。

このような状況下におきまして当社は、地方自治体が前倒しで発注した工事のほか、大型プロジェクト工事に対する資材納入に注力し、生産工場においては原価低減を強力に推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が22億6千9百万円(前年同四半期に比べ4百万円の増加)となり、営業利益が1億8百万円(前年同四半期は営業損失2千8百万円)、経常利益が7千5百万円(前年同四半期は経常損失7千5百万円)、四半期純利益は7千4百万円(前年同四半期は四半期純損失6千9百万円)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末につきましては、前会計年度末と比較して、1億9千9百万円増加し、46億6千9百万円となりました。主な増加要因は、現金預金8千6百万円、売掛金2億2千6百万円及び棚卸資産6千5百万円等によるもので、主な減少要因は、受取手形1億4千3百万円、有形固定資産2千6百万円及び長期性預金1千2百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末につきましては、前会計年度末と比較して、1億3千4百万円増加し、36億5千6百万円となりました。主な増加要因は、買掛金及び未払金1億3千3百万円、1年以内に返済予定の長期借入金5千9百万円等によるもので、主な減少要因は、長期借入金9千6百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末につきましては、前会計年度末と比較して6千5百万円増加し、10億1千3百万円となりました。これは当第2四半期純利益を計上したことによるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加1億3千6百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少1千万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少4千8百万円により、前会計期間末に比べ1百万円減少し、当第2四半期末残高は1億4千6百万円となりました。

なお、当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における営業活動の結果得られた資金は、1億3千6百万円(前年同期は4千5百万円の増加)となりました。この主な増加要因は、税引前四半期純利益7千5百万円、減価償却費5千9百万円に加え、売上債権の減少1億9百万円及び仕入債務の増加8千2百万円等によるもので、主な減少要因は、割引手形の減少1億9千1百万円及び棚卸資産の増加6千5百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における投資活動の結果使用した資金は、1千万円(前年同期は3千5百万円の減少)となりました。この主な増加要因は、定期預金の取崩しによる収入3千万円等によるもので、主な減少要因は、有形固定資産取得による支出1千2百万円及び定期預金の預入れによる支出2千7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における財務活動の結果使用した資金は、4千8百万円(前年同期は1億5百万円の減少)となりました。この主な増加要因は、長期借入金による収入2億円によるもので、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出2億3千6百万円及び配当金の支払いによる支出6百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年8月12日に公表いたしました平成22年6月期の業績予想を下記の通り修正いたします。

なお、詳細は平成22年2月12日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(1) 第2四半期累計期間 (平成21年7月1日～平成21年12月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益
前回予想 (A) (平成21年8月12日発表)	百万円 2,280	百万円 2	百万円 0
今回修正 (B)	2,269	75	74
増減額 (B-A)	△ 11	73	74
増減率 (%)	△0.5%	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成21年6月期 第2四半期)	2,265	△75	△69

(2) 通期 (平成21年7月1日～平成22年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A) (平成21年8月12日発表)	百万円 5,200	百万円 130	百万円 120	円 銭 33 88
今回修正 (B)	4,800	—	—	— —
増減額 (B-A)	△ 400	—	—	— —
増減率 (%)	△7.7%	—	—	— —
(ご参考) 前期実績 (平成21年6月期)	4,932	39	35	10 11

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,926	81,412
受取手形	150,651	294,503
売掛金	861,040	634,543
商品及び製品	805,372	733,911
原材料及び貯蔵品	90,918	96,676
前払費用	15,713	18,065
その他	8,312	5,073
貸倒引当金	△ 27,456	△ 33,090
流動資産合計	2,072,478	1,831,096
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	398,141	412,701
構築物 (純額)	184,882	198,339
機械及び装置 (純額)	143,509	149,592
土地	1,646,881	1,646,881
リース資産 (純額)	38,195	28,545
その他 (純額)	89,329	91,807
有形固定資産計	2,500,938	2,527,868
無形固定資産		
ソフトウェア	422	904
電話加入権	4,572	4,572
無形固定資産計	4,994	5,476
投資その他の資産		
投資有価証券	22,403	25,005
その他	322,130	334,319
貸倒引当金	△ 253,100	△ 253,706
投資その他の資産計	91,433	105,619
固定資産合計	2,597,366	2,638,964
資産合計	4,669,844	4,470,061

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,848	225,619
短期借入金	1,480,000	1,480,000
1年以内に返済予定の長期借入金	514,416	454,888
リース債務	10,924	7,799
未払金	250,415	199,347
未払法人税等	4,574	5,791
未払消費税	14,936	5,234
預り金	18,606	8,732
賞与引当金	18,343	18,322
その他	3,485	831
流動負債合計	2,623,549	2,406,566
固定負債		
長期借入金	899,720	996,092
退職給付引当金	103,408	96,717
リース債務	29,880	22,172
繰延税金負債	—	779
固定負債合計	1,033,009	1,115,761
負債合計	3,656,558	3,522,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	102,809	35,739
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	1,013,652	946,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 366	1,150
評価・換算差額等合計	△ 366	1,150
純資産合計	1,013,286	947,732
負債純資産合計	4,669,844	4,470,061

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	2,265,159	2,269,780
売上原価	1,712,604	1,625,823
売上総利益	552,555	643,957
販売費及び一般管理費	581,402	535,432
営業利益又は営業損失 (△)	△ 28,846	108,525
営業外収益		
受取利息受取配当金	367	122
受取保険金	—	3,540
貸倒引当金戻入益	—	5,200
その他営業外収益	7,548	3,414
営業外収益合計	7,916	12,278
営業外費用		
支払利息割引料	53,886	42,832
その他営業外費用	355	2,838
営業外費用合計	54,242	45,670
経常利益又は経常損失 (△)	△ 75,172	75,133
特別利益		
固定資産売却益	6,767	—
特別利益合計	6,767	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△ 68,405	75,133
法人税、住民税及び事業税	986	989
法人税等合計	986	989
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△ 69,392	74,143

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失 (△)	△ 68,405	75,133
減価償却費	74,726	59,773
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,103	△ 6,239
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,090	21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 384	6,691
受取利息及び受取配当金	△ 367	△ 122
支払利息・社債利息	52,696	41,175
投資有価証券売却損益 (△は益)	145	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	164	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△ 6,767	—
割引手形の増減額 (△は減少)	△ 9,886	△ 191,148
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 42,148	109,108
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 129,269	△ 65,702
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,092	82,228
その他	60,386	68,846
小計	99,789	179,764
利息及び配当金の受取額	367	122
利息の支払額	△ 52,897	△ 41,536
法人税等の支払額	△ 2,013	△ 1,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,245	136,386
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券売却による収入	1,984	—
投資有価証券の取得による支出	△ 119	△ 241
有形固定資産の売却による収入	19,781	—
有形固定資産の取得による支出	△ 41,081	△ 12,311
定期預金の預入による支出	△ 24,000	△ 27,000
定期預金の払戻による収入	—	30,000
貸付金の回収による収入	4,200	—
その他	3,703	△ 754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,532	△ 10,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 20,000	—
長期借入による収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 254,644	△ 236,844
社債の償還による支出	△ 30,000	—
自己株式取得による支出	△ 47	—
リース債務の返済による支出	△ 1,160	△ 4,791
配当金の支払による支出	—	△ 6,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 105,852	△ 48,565
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 96,138	77,513
現金及び現金同等物の期首残高	244,485	69,412
現金及び現金同等物の四半期残高	148,347	146,926



- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報  
(第2四半期累計期間)  
品種別の売上高

区分	品目	前第2四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比
		(千円)	(%)	(千円)	(%)
製品	道路用製品	416,667	18.4	412,337	18.2
	水路用製品	878,000	38.8	854,566	37.6
	擁壁・土止め用製品	183,255	8.1	187,279	8.3
	法面保護用製品	21,981	1.0	80,852	3.6
	その他	98,067	4.3	93,117	4.1
	小計	1,597,972	70.5	1,628,153	71.7
商品	コンクリート二次製品	543,722	24.0	558,314	24.6
	その他	123,464	5.5	83,313	3.7
	小計	667,187	29.5	641,627	28.3
	合計	2,265,159	100.0	2,269,780	100.0

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。